

重症領域における薬剤師の介入に関する研究

1. 研究の対象

5山病棟、ICU、HCU、救命救急ICUの救命診療科に入院され、2021年12月から2022年6月の期間で薬剤師による処方介入（疑義照会）が行われた患者

2. 研究目的・方法

救命救急センターICUなどの重症部門では、病態の連日の変動頻度が多いため、一般病棟よりも薬剤の用法用量などの薬物治療の適正化を目的とした薬剤師の介入の需要が多くなっています。介入までに要する時間は早期が望ましいですが、薬剤師の重症部門への常駐の実態は、当院も含めて多くの施設が平日日勤帯のみとなっており、休日夜間に行った介入事案に対しては翌勤務帯での対応となっています。実際に、休日夜間帯にどの程度薬剤師の介入が必要な事案が発生しているかという報告は少なく、今回これらを調査し明らかにすることで重症部門での薬剤師介入実態の評価を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

薬剤師が処方介入を行った内容や介入の時間帯など

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

5. 研究組織

研究責任者

りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津 祥央

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
大阪府泉佐野市りんくう往来北 2 番地の 23 りんくう総合医療センター
TEL:072-469-3111
研究分担者 薬剤部門 小林 洋平
研究責任者：薬剤部門 深津 祥央